

成人式

409人が大人の仲間入り 飛躍誓う新成人



▲八幡平市として初めての成人式には、新成人240人が出席しました

八幡平市として初の成人式は8月15日、西根地区体育館で西根、松尾、安代の3地区から新成人が一堂に会し、開かれました。

今年の対象者は、昭和60年4月2日から61年4月1日までに生まれた409人。このうち240人が出席しました。今年の成人式は、新成人の高橋奈美さん(平館)と勝又絵美さん



久しぶりに再会した友人と、記念写真を撮る新成人の皆さん

美さん(同)が司会を担当し進行。式典で田村正彦市長は「八幡平市にある素晴らしい人材や景観を生かして、皆さんの手で全国に八幡平市をPRし

てほしい。そして、今日の成人式を節目に、皆さんが大きく飛躍することを期待します」と式辞を述べました。
瀬川健則市議会議長と八重樫勝市教育委員長がお祝いのことを寄せた後、小中学校時代の先生などからの祝電が披露されました。
新成人を代表して中村涉さん(松尾寄木)が「黄金色に輝く稲穂のように、絶えず新しい知識や技術を習得し、自己の向上に努め、未来の社会に対応できる成人を目指します」と誓いのことを述べ、大人への一歩を歩み始めました。
式典終了後は、二戸市の株南部美人5代目蔵元・久慈浩介さんが「岩手から世界へ発信」と題して講演をしました。



▲式典の司会を務めた、新成人の高橋奈美さん(写真右)と勝又絵美さん



新成人の誓いの言葉を述べる中村涉さん



ズ。長野大会はシリーズを締めくくるとの大会です。

初日は、野沢温泉村の野沢温泉ジャンツェ、2日目は木島平村の木島平ジャンプ競技場で行われました。

論果さんは2日目、33歳、34歳と大ジャンプを2本そろえ圧勝。潤志君も、K点65歳ジャンプを2本まとめて準優勝に輝きました。

2006ジュニアサマージャンプNAGANOシリーズは8月3日から3日間、長野県で行われ、柏台小学校6年の小林論果さんが、小学生女子の部で初日から2連勝を飾りました。

兄の潤志郎君(松尾中3年)は中学生男子の部で2戦連続2位に入賞、弟の陵侑君(柏台小4年)も小学生男子の部で初日6位、2日目5位に入賞しています。

この大会は北海道から転戦し、11回続くジャンプシリーズ

このジャンプシリーズでは、潤志郎君が7月31日に行われた余市町全日本ジュニアサマージャンプ大会で優勝するなど好成績を収めています。

■田山ジュニアサマージャンプ大会結果(8月6日、県営スキージャンプ場)
【中学生の部】②小林潤志郎 ④三浦将喜(田山中3年) 敬称略

田山保育所に遊具贈る 田山有線財産管理協会

田山有線財産管理協会(島内益男会長)は8月23日、田山保育所(島山桂子所長、園児23人)にジャングルジムと太鼓橋の遊具を贈りました。
贈呈式は同保育所の園庭で行われ、島内会長と園児6人がテープカット。園児は「ありがとうございます」とうれしそうにお礼を述べました。早速、園児たちは遊具で遊びぞめ、遊具に登って、元気いっぱい体を動かしました。



寄贈されたジャングルジムと太鼓橋



全日本吹奏楽コンクール県大会 西根中が創部10年目で金賞受賞

全日本吹奏楽コンクール岩手県大会中学校の部は7月29日、岩手県民会館で行われ、西根中学校(堀籠富男校長)の吹奏楽部が金賞を受賞しました。創部10年目で初めて東北大会へ出場します。

西根中吹奏楽部は、平成9年に発足。今年1月、打楽器4人で行う県アンサンブルコンテストで金賞を受賞し、東北大会に出場しました。今回の東北大会は部全体での出場となります。

部長の佐々木志穂さん(3年)は「西根中吹奏楽部のすべてのサウンドを融合し、聞いている人たちが幸せになれる

ような演奏をしたい。創部以来、東北大会は初出場になります。先輩が果たせなかった夢を自分たちが頑張ります」と意気込んでいます。

部員は1年生9人、2年生21人、3年生9人の計39人。3年生を中心に、積極的に練習に取り組み、学年関係なく仲の良い、熱心な部です。

東北大会では、県大会で演奏した課題曲「バルセイション」と自由曲「民衆を導く自由の女神」を演奏する予定です。部員たちは演奏に一層磨きをかけようと、顧問の吉田哲先生の指導の下、夏休みを返上して練習に励んでいます。